

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公表番号】特表2009-525323(P2009-525323A)

【公表日】平成21年7月9日 (2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2008-553193(P2008-553193)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/17 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/16

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月2日 (2010.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象の組織における変性炎症プロセスの処置及び / 又は予防の為の医薬組成物であって、該組織の細胞における T o l l 様受容体 3 (T L R 3) の活性を増加することができる少なくとも 1 の化合物の治療的に有効な量 ; 及び医薬的に許容可能なキャリアを含む、前記組成物。

【請求項 2】

該少なくとも 1 の化合物が、

- T L R 3 アゴニスト ;
- T L R 3 アゴニストのインビボでの発現を促進する化合物 ;
- T L R 3 発現を促進する化合物、及び / 又は、
- T L R 3 により仲介される情報伝達を促進する化合物

である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

該対象が哺乳類である、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

該組織が神経組織である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

該細胞がグリア細胞及び / 又は、滑膜の細胞である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

該変性炎症プロセスが、慢性又は急性神経変性疾患の結果である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

該神経変性疾患が、卒中、血液量減少性ショック、外傷性ショック、再灌流傷害、多発性硬化症、A I D S 関連認知症、神経毒性、アルツハイマー病 (A D)、頭部外傷、急性脊髄損傷、ハンチントン病 (H D)、パーキンソン病 (P D) 及び関係するシヌクレイン病、ジストニア、トゥレット症候群、前頭側頭型認知症 (F T D s) 及び関係するタウオパシー、致死性家族性不眠症 (F F I) のようなプリオン疾患及びクロイツフェルトヤコブ病に關係する他の疾患、筋萎縮性側索硬化症 (A L S)、三塩基反復病、運動ニューロン病、進行性核上性麻痺、レム睡眠行動障害 (R B D) 並びに癌からなる群から選ばれる、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

該化合物が該神経組織の細胞における神経保護応答を刺激することができ且つ / 又は該化合物が該滑膜組織の細胞における修復機能を刺激することができる、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

該少なくとも 1 の T L R 3 アゴニストが、

- スタスミン、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体；
- スタスミン様タンパク質、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体、及び
- スタスミンのアミノ酸配列 (配列 I D NO : 1)、S C G - 1 0 のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 2)、S C L I P のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 3) 及び R B 3 のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 4) から成る群から選ばれるアミノ酸配列と少なくとも 6 0 % のアミノ酸配列類似性を有するポリペプチド鎖を含むタンパク質性化合物、

から成る群から選ばれる、請求項 2 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

該アミノ酸配列類似性が、配列 I D NO : 1 の残基 4 4 ~ 1 3 8 に対応するスタスミン様 ヘリックスドメインに關係する、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

該スタスミン様タンパク質が、S C G 1 0、S C L I P 及び / 又は R B 3 である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

配列 I D NO : 1 の残基 4 4 ~ 1 3 8 に対応するスタスミン様 ヘリックスドメインの安定化を促進する化合物をさらに含む、請求項 9 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 13】

医薬としての使用の為の、

- スタスミン、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体；
- スタスミン様タンパク質、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体、及び
- スタスミンのアミノ酸配列 (配列 I D NO : 1)、S C G - 1 0 のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 2)、S C L I P のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 3) 及び R B 3 のアミノ酸配列 (配列 I D NO : 4) から成る群から選ばれるアミノ酸配列と少なくとも 6 0 % のアミノ酸配列類似性を有するポリペプチド鎖を含むタンパク質性化合物、

から成る群から選ばれる T L R 3 アゴニスト。

【請求項 1 4】

対象の組織における変性炎症プロセスの処置及び／又は予防の為の医薬であって、

- スタスミン、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体；
- スタスミン様タンパク質、T L R 3 を活性化するその誘導体及びその前駆体、及び

- スタスミンのアミノ酸配列（配列 I D NO：1）、S C G - 1 0 のアミノ酸配列（配列 I D NO：2）、S C L I P のアミノ酸配列（配列 I D NO：3）及び R B 3 のアミノ酸配列（配列 I D NO：4）から成る群から選ばれるアミノ酸配列と少なくとも 6 0 % のアミノ酸配列類似性を有するポリペプチド鎖を含むタンパク質性化合物、
から成る群から選ばれる T L R 3 アゴニストを含む前記医薬。

【請求項 1 5】

何らかの疾患、病気又は障害を欠く対象において、神経変性疾患の発症を阻止し又は遅延させる為の、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の組成物。